

# 「広津よ永遠に」シリーズ その 16

## 「広津の石仏・石碑・石像など」その 13

2013.11.27

広津の平畑・郷志窪地区地区にある石仏などです。県道に近い場所で現在は4戸が現住、別荘風に利用が1戸、貸家兼畑仕事にきた時の休憩風に利用が1戸の集落です。交通の便は比較的良い地区です。広津では数少ない水田が何枚かある所です。最初の写真はAさん宅に入る道端にある「馬頭観世音」です。

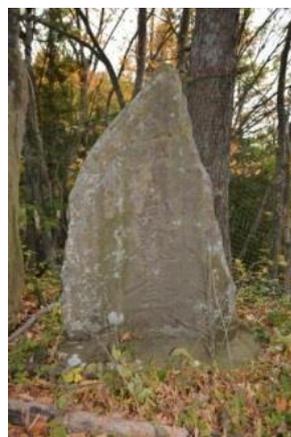
人物です



馬頭観世音



二十三夜塔



判読不明です



大日如来



はてなです



人物像



首から上無で合掌しています



〇〇（字は不明）堂



庚申様



何故か？馬の字が並列されています。裏には 昭和55(54?)年11月 丸山氏建之 と彫られています。近世になり、馬が移動や荷運び・農耕に使われ、馬が急死した路傍などに馬頭観音は多く祀られ、動物供養塔としての意味合いが強くなった。「馬頭観世音」の文字だけ彫られた物は多くが供養として祀られた。田舎では珍しくない、時々目にする石碑であります。2枚目以下はこの集落の人達が毎月2

3日にお神酒・お菓子などをお供えしてお祭りが行われているという「お堂」とその隣に並ぶ石仏などです。

全景です



その横のお堂



お堂の裏にスズメバチの巣



大日如来には大正六年二月(?)と彫られています。二十三夜塔には平畑〇〇謹中と彫られています。それ以外の石像も年月の経過で字は判読できません。

広津の人々は信心深く、お墓も沢山アチコチに散在しています。時期になると清掃がされ、献花がされ、お墓参りも行われています。(池田町や松川村の市街地などへ転居した人が多いので大変と思いますが) 変な話ですが今住んでいる人口の何十倍いや何百倍ものお墓が現存しています。